日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRSJ PUBLIC RELATIONS SOCIETY OF JAPAN NEWS

2020年12月号

NO. 324

TOPICS

「新たなコミュニケーションの時代に向けて」

(公社)日本パブリックリレーションズ協会　理事　平野　竜一郎

MESSAGE　P4

オンラインイベント:PRSJ40周年記念フォーラム開催報告

ATTENTION　P5

PRプランナー資格認定制度／検定試験再開！1次試験申込を1月12日から受付開始

ATTENTION　P10

「PR アワードグランプリ2020」表彰式・受賞者によるプレゼンテーションオンライン配信

ATTENTION　P11

PRSJ新春シンポジウム開催のご案内

ATTENTION　P12

「広報・PRスキルアップ実践講座」第2回　マーケティングPR講座開講

ATTENTION　P13

「広報・PRスキルアップ実践講座」第3回　デジタル危機対応講座開講

ATTENTION　P14

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号　六本木ヒルズノースタワー
5F 電話(03)5413-6760　ファックス(03)5413-2147

URL　https://www.prsj.or.jp/

関西支部　〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F
電話(06)6344-3002　　ファックス(06)6344-3005

発行人:畔柳　一典

12月号目次

12月～1月のスケジュール		2
MESSAGE(メッセージ)	「新たなコミュニケーションの時代に向けて」	4
REPORT(開催報告)	オンラインイベント:PRSJ40周年記念フォーラム開催報告	5
ATTENTION(お知らせ)	PRプランナー資格認定制度／検定試験再開！1次試験申込1月12日から受付開始	10
〃	「PRアワードグランプリ2020」表彰式・受賞者によるプレゼンテーションオンライン配信	11
〃	PRSJ新春シンポジウム開催のご案内	12
〃	「広報・PRスキルアップ実践講座」第2回　マーケティングPR講座開講	13
〃	「広報・PRスキルアップ実践講座」第3回　デジタル危機対応講座開講	14
BULLETIN (活動報告)	第24回企業活動研究会(11月17日)開催報告(正会員・個人会員限定)	15
REPORT(講演レポート)	第209回定例研究会(正会員・個人会員限定)	16
協会掲載記事	PRSJ　in　Media	17

12月～1月スケジュール

広報･PRスキルアップ実践講座 2020 特別編（オンライン開催） コロナ時代の広報･PRを考える①	日　時 テーマ 講師	： ： ：	12 月 21 日までオンライン配信 変わる記者会見と現場記者が望むこと フリーランス･ライター　三浦優子氏
コロナ時代の広報･PRを考える②	日　時 テーマ 講師	： ： ：	12 月 28 日までオンライン配信 ポストコロナ･リモート時代の発信力を強化する～世界標準のコミュニケーション術 コミュニケーション･ストラテジスト/エグゼクティブ･スピーチコーチ/（株）グローコム　代表取締役社長　岡本純子氏
新任広報部長講座 2020（オンライン開催）	日　時	：	12 月 28 日までオンライン配信
第 210 回定例研究会（オンライン開催）	日　時 テーマ 講師	： ： ：	12 月 16 日（水）14:00～15:20 「朝日新聞　経済報道の今とこれから～デジタル化とコロナ禍で経済報道はどう変わったのか？～」 朝日新聞社　東京経済部長　多賀谷 克彦氏
「PRアワードグランプリ 2020」 表彰式/プレゼンテーション	日　時	：	12 月 18 日～12 月 27 日期間限定オンラインで配信予定
PRSJ新春フォーラム（オンライン開催）	日　時	：	1 月 20 日（水） 16:00～17:30

12月～1月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会	**（12月度）**	日　時	：	12月　10日（木）	16:00～17:30
		会　場	：	オンライン開催	
	（1月度）	日　時	：	1月　14日（木）	16:00～17:30
		会　場	：	オンライン開催	
教育委員会	**（12月度）**	日　時	：	12月　3日　（木）	13:30～15:00
		会　場	：	オンライン開催	
	（1月度）	日　時	：	1月　13日（水）	13:30～15:00
		会　場	：	オンライン開催	
資格委員会	**（12月度）**	日　時	：	12月　24日（木）	12:00～13:30
			：	オンライン開催	
国際・交流委員会	**（12月度）**	日　時	：	12月　15日（火）	15:00～16:30
				オンライン開催	
広報委員会	**（12月度）**	日　時		12月　24日（木）	16:00～17:30
			：	オンライン開催	
顕彰委員会	**（12月度）**	日　時	：	12月　21日（月）	15:00～16:30
			：	オンライン開催	
企業部会幹事会	**（12月度）**	日　時	：	12月　2日（水）	17:00～18:30
			：	オンライン開催	
	（1月度）	日　時	：	1月　6日（水）	16:00～17:30
			：	オンライン開催	
ＰＲ業部会幹事会	**（12月度）**	日　時	：	12月　16日（水）	16:00～17:30
			：	オンライン開催	

「新たなコミュニケーションの時代に向けて」

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

理事　平野 竜一郎

2020年も早くも師走、今年は極めて特別な一年となりました。昨年の今頃は、2020年には記念すべき東京オリンピックが開催され、日本中が外国人観光客であふれ返り、経済活動は絶好調になるものと誰もが信じていましたが、COVID-19の出現は、全てを一変させてしまいました。

加えて、政治の世界でも、日本では菅内閣の成立、米国では大統領選と大きな動きがありました。トランプ政権の終焉もついに確定的となり、年明け1月20日には新大統領が正式に就任します。政治は変わっても地球レベルの課題は待ったなしの状況です。気候変動や環境問題、人権や格差社会など、国境を越えた議論が進んでいます。今やSDGsは我々のような企業広報に携わる立場にとっても常に関心を払うべきテーマとなりました。経済活動の活性化とサステナブルな社会の実現を両輪で廻していくことがもはや揺るがぬ世界課題となったことを痛感します。

人の往来が途絶えたことで、コミュニケーションの世界は大きな転機を迎えました。企業内でも企業間でも、コミュニケーションはすっかりオンライン化しました。打ち合わせや会議はZoomやTeamsなどのデジタル空間に取って代わられ、紙で発行していた広報ツールのあり方を見直したケースも多いと思います。デジタル化の流れは、コロナによる影響で急加速したことは間違いありません。

そんなオンラインによるコミュニケーション、皆さまはうまくいっているでしょうか。リアルでの関係づくりができていれば大きな支障はないとはいえ、やはりニュアンスや認識の齟齬に悩まされている方々も多いようです。そのフォローはどのようにしたらよいのか。飲みにケーションも控えざるを得ない中、コミュニケーションの有り様は模索が続いています。ニューノーマルな環境下では、コミュニケーションの重要性が一層増す一方で、手段の多様化が進んだ一年間でした。

さて、来年はどんな年になるでしょうか。年初の箱根駅伝は無観客で実施すると伺っています。東京オリンピックはきっと新しいやり方で開催され、国際的な人の往来も復活していくことを期待したいものです。日本の本社社員の約２割が海外へ駐在している弊社では、一時は日本へ帰国させる事例も多かったのですが、海外との往来も再開しました。

広報のプロが集まるPRSJにおいて、営業出身の広報マンが僭越ではありますが、新人理事として勉強させていただきながら、海外情勢や外から見た日本の視点など世相動向もウォッチしつつ、コミュニケーションの重要性に応える協会運営の下支えに精進する所存です。来年が皆様にとってより良い年でありますように。

「PRSJ40周年記念フォーラム」11月13日開催
2020年　PRSJ宣言で協会のスタンスを表明

日本パブリックリレーションズ協会は、2020年に設立40周年を迎えました。
40周年記念事業の一環として、11月13日に「PRSJ40周年記念フォーラム」が開催されました。当日は寺田倉庫㈱様のご厚意により「KIWA」という会場に登壇者が集合、同会場のライブ配信設備を活かしたリアルタイム視聴に300名近い申し込みがあり、約200名がこのイベントを視聴しました。

フォーラムのテーマは「PRへの期待と可能性」。コロナ禍におけるパブリックリレーションズの役割、課題、可能性について協会のスタンスを「2020年　PRSJ宣言」で改めて明らかにし、それをもとに議論し、発信することを目的に開催されました。
当日は、「2020年 PRSJ宣言」の発表のほか、協会の発展に多大な貢献のあった方を表彰する「功労賞」受賞者12名の発表、会員対象に実施した「コロナ禍とパブリックリレーションズ」調査の結果報告、そして協会理事4名によるトークセッションが行われました。

■当日プログラム

・功労賞発表

協会の企業部会・ＰＲ業部会・関西部会・事務局それぞれからの推薦があった功労賞受賞者の方々が各部会長（事務局は常務理事）から発表されました。
「功労賞」の受賞者に関しては別表の通りです。

・調査「コロナ禍とパブリックリレーションズ」の報告

232名の協会会員広報・PR担当者から回答が得られた調査、「コロナ禍とパブリックリレーションズ」について、担当した40周年記念事業実行委員会の橋本良輔氏（(株)電通パブリックリレーションズ）と山本彰治氏（(株)アイスタイル）からその結果と分析について報告がありました。

コロナによって社会や事業活動が大きく変わっていく中、広報・PR担当者の役割の増加や、ステークホルダーの多様化、インターナル重視などの意識変化が見られ、パブリックリレーションズにおいて、倫理観を土台とした対話や共感醸成が重要性を増していることがわかりました。そして、パブリックリレーションズは自社の成長に貢献し、組織全体にかかわる概念であるとともに、社会的課題解決やソーシャルイノベーションに寄与できると認識されており、広報・PRパーソンが、そうした意識を持ちながら、所属の垣根を超えて活動することがよりよい社会の実現につながるのではないかとしました。

・2020年　PRSJ宣言

調査結果の報告を受けて「2020年 PRSJ宣言」が発表されました。

https://prsj.or.jp/pick_up/opinion/2020prsjsengen/

＜前文＞

Covid-19は世界を大きく変えました。
それは会うことの難しさを受け止めながら動いていく社会です。
対面によるコミュニケーションが難しい時代の中で、
私たちはこれからの社会のあり方を模索しています。
社会はさらに複雑になりつつあります。
価値観が多様化していく中で、
考え方が違う相手に対して不寛容な社会も生まれ、
世界で様々な対立や衝突が起こっています。
企業にとってもこうした環境は、
事業の見えないリスクになっていくと考えます。
今、私たちが手にしている数多くの課題、
それは対話なくして解決できないものです。
だからこそ、私たちは伝えたい。
パブリックリレーションズがこれからの社会において
果たせる役割と可能性の大きさを。
パブリックリレーションズは
様々なステークホルダー間の対話による関係構築の概念です。

それは倫理観と信頼感に基づいた、
全ての人々を幸福にできるコミュニケーションです。
私たち日本パブリックリレーションズ協会は
今日まで培った数多くの経験と知見を生かし、
対話の難しい社会の中で人々の間に確かな共感を呼び起こし、
社会課題の解決に寄与していきたいと考えます。
世界を変えるソーシャルイノベーションは、
人と人をつなげる言葉と、他者への共感を大切にした
コミュニケーションから湧き上がってくるものです。
私たちは変化する時代を受け止めながら、
新たな気持ちで動き始めます。
パブリックリレーションズの力によって
世界をより良い方向へ変えていくために。

＜宣言＞

日本パブリックリレーションズ協会は
倫理観と信頼感に基づいた創造的な対話づくりの力で、
人々の中に共感を生み出し
世界を変えるソーシャルイノベーションに
寄与していきます。

・トークセッション

フォーラムを締めくくるプログラムは協会理事4名によるトークセッション。本田哲也氏（(株)本田事務所）がモデレーターを務め、上岡典彦氏（(株)資生堂)、飾森亜樹子氏（NEC)、松本理永氏（(株)サニーサイドアップ）が登壇。トークセッションでは、PRSJ宣言のキーワードでもある「共感」について、「経営とコミュニケーション」、「ニューノーマルにおけるパブリックリレーションズの期待と可能性」などをテーマに活発なトークが繰り広げられました。　パブリックリレーションズにおける「共感」は、その浸透の仕方が、「広く、大きく」から、より「丁寧に、深く」に変化しつつあり、テクノロジーの力を借りて共体験、共創していくことでムーブメントとなっていくこと。そしてそれがポストコロナの経営、そして社会の素晴らしい未来につながるというメッセージとなってセッションは終了しました。

今回のフォーラムを通しては、協会とパブリックリレーションズの発展、啓発に尽力寄与された方々に感謝するとともに、厳しい社会環境においてパブリックリレーションズの重要性とこれからの期待を再認識し、そのあるべき姿や方向性について議論し、発信することができました。今後もこの議論を会員の皆様と継続し、パブリックリレーションズの可能性をさらに広げていきたいと思います。

文責：飛澤正人（(株)プラップジャパン

40周年記念事業実行委員会(五十音順・敬称略)

・委員長：脇山 亜希子
寺田倉庫(株)
・市瀬 朱実
アリソン・アンド・パートナーズ(株)
・上岡 典彦
(株)資生堂
・鈴木 孝徳
(株)井之上パブリックリレーションズ
・飛澤 正人
(株)プラップジャパン
・橋本 良輔
(株)電通パブリックリレーションズ
・日比谷 尚武
(同)kipples
・藤井 京子
(株)電通パブリックリレーションズ
・本田 和秀
凸版印刷(株)
・山本 彰治
(株)アイスタイル
・渡辺 裕子
農林水産省

＜別表＞功労賞受賞者と授賞理由

◎PR業部会推薦（5名）/五十音順

◇井之上 喬氏（(株）井之上パブリックリレーションズ代表取締役会長）

協会の理事時代はIPRAとの関係強化などを通じ日本のPRのグローバル化に尽力。本年、設立50周年を迎えた井之上パブリックリレーションズを創業、日本のPR業界を長くけん引してきた一人。多数の著作を通じてPRの理論と実践両面から業界に貢献。

◇越智 慎二郎氏（元・(株）電通）
理事2年、常務理事2年を務めPRプランナー資格認定事業を、構想段階から一貫してプロジェクト牽引。事業化をなしえた。プランナー資格取得者はのべ3,000人を数え、協会の公益事業の柱となっている。

◇近藤 義昭氏（(株）内外切抜通信社 代表取締役社長）
毎日新聞社会部記者を経て、メディアクリッピング・モニタリング会社を経営する傍ら、主に教育委員会委員として協会活動に参画。豊富な知見と人脈を生かして講座・セミナーの企画など長年に渡って貢献。

◇西谷 武夫氏（ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド日本法人会長）
グローバルPRエージェンシー日本法人のトップとして、長年にわたり日本のPR業界を牽引。パブリック・アフェアーズの重要性を啓発し、2011年には『パブリック・アフェアーズ戦略』を上梓。協会の理事を2年、監事を10年に亘り就任、その間、国際委員会（現国際・交流委員会）委員として、オランダ大使館訪問をはじめ、協会会員の国際的視野を広げるための多くの活動に直接関与。

◇橋爪 清氏（元・ピーアールコンビナート（株） 代表取締役社長）
PR会社経営の傍ら、顕彰委員会活動などで長年に亘って協会事業に尽力。現在のパーソン・オブ・ザ・イヤー、シチズン・オブ・ザ・イヤー、PRアワードグランプリの前身である「日本PR大賞」創設時の中心的メンバーとして活躍。その後も長きにわたって当該事業の発展に貢献、本事業を主力公益事業として根付かせた。

◎企業部会推薦（5名）/五十音順

◇潮見 登氏（元・(株）野村総合研究所、元・東京工業大学大学院 連携教授）
2011年から現在に至るまで、PRプランナー資格検定試験の専門委員として、すべての試験問題作成において尽力。豊富な経験に裏打ちされた幅広い知見と洞察が、試験問題のクォリティの維持、品質向上に寄与。PRプランナー資格制度の地位向上と発展に貢献。

◇柴山慎一氏（社会情報大学院大学教授、日本広報学会理事長）
2008年から2年間､PRプランナー資格制度の黎明期を協会理事･資格委員会委員長として､また、試験専門委員や協会内外におけるセミナー講師などの活動を通して資格制度の発展と普及に貢献。現在も、日本広報学会や社会情報大学院大学で精力的に活動、PRプランナー資格制度をサポートしている。

◇八木 隆氏（(株）フォース代表取締役社長）
協会理事を2期4年にわたって務め、その後も、様々な場面で協会活動に尽力。特にPRプランナー資格試験制度の創設期、制度の基本的な設計、運営方法、試験会場の提供、さらに自ら試験問題作成に取り組み、資格制度実施に向け大きな役割を果たす。企業部会においても、長らく指導的立場を務め、今日の活性化した活動の基礎を築いた。

◇山田 悦朗氏（(株）インターネットイニシアティブ）
理事2年、副理事長4年、監事4年と長期に亘り協会発展に多面的に尽力し、功績を残した。加えて、企業部会長として「企業部会フォーラム」「広報活動研究会」「広報ゼミ」の活動の基礎を築き、その人格に育まれた自由闊達な風土と文化は継承され今も生きている。

◇渡邉 幹夫氏（凸版印刷（株））
理事、副理事長として長年に亘り協会活動で活躍。特に広報委員会委員長として、協会自体のPRに努めた。また、ガバナンスを強化するために倫理綱領の刷新の必要性を訴え、改定草案を自ら作成。PR業と企業側との意見を何度もすり合わせ、2016年通常総会で採択された。

◎関西部会推薦（1名）

◇伴 一郎氏（元・伴ピーアール（株）代表取締役社長）
1984年の関西部会創設時から尽力、幹事、理事の要職を務め、部会発展に大きく貢献。本業に加え環境保全など社会活動にも注力。水都大阪の活性化で日本河川協会、日本初の電池推進船就航で国土交通省から表彰され、また琵琶湖ヨシの保護活用で2001年PRアワード受賞するなどしている。
※伴一郎氏は2019年9月逝去されました

◎事務局推薦（1名）

◇岩渕昭子氏（東京経営短期大学教授/経営総合学科学科長）
2008年から2019年まで12年間にわたって協会監事を務め、管理会計の専門家として、協会経理事務の合理化と財務健全化に貢献。2012年の公益認定に際しても専門的知見を遺憾なく発揮。

ATTENTION

PRプランナー資格認定制度／検定試験

試験再開！
1次試験申込を1月12日から受付開始
ー第29回1次試験は、CBT方式で2月27日(日)実施ー

資　格　委　員　会

今夏の第27回、第28回の1次試験中止では、試験に向けて準備されていた皆様にご迷惑をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

これまでの集合型の試験方式を見直し、全国のテストセンターに設置されたPCを使う分散型の方式（CBT方式）により試験を再開する運びとなりましたのでご案内いたします。

長らくお待たせいたしまして誠に申し訳ございませんでした。

ぜひ受験をご検討いただければ幸いに存じます。

●全国280カ所のテストセンターに設置されたPCを使って受験していただきます。
●16日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
●試験範囲（公式テキスト）、問題数、受験料などの変更はありません。
●受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy（ネットバンキング）からお選びください。（手数料は無料です）
●新規でお申込みの方は先着順の定員制となりますが、第27回・28回の1次試験にお申込みいただいた方は、今回につきましては定員の制限なくお申込み可能です。なお、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

※2次試験は2021年5月15日（土）～30日（日）の16日間の試験実施予定で、申込期間は4月5日（月）～30日（金）を予定しております。
※3次試験の実施日は現在検討中です。遅くとも2021年4月までにWebサイトで発表いたします。

＜ＰＲプランナー資格認定制度／検定制度　第29回1次試験　実施概要＞

試　験　期　間	**2021年2月27日（土）～3月14日（日）**
仮　申　込　期　間	**2021年1月12日（火）～2月12日（金） （本申込に必要な受験コードを取得）**
本　申　込　期　間	**2021年1月12日（火）～2月19日（金） （受験日時・会場選択、受験料のお支払い）**
合　否　発　表	**2021年3月29日（月）**
試験出題数／試験時間	50問／80分
合　格　基　準	全出題数に対して正答率70％以上で合格
公　式　テ　キ　ス　ト	広報・ＰＲ概説（2019～2020年度版） 広報・ＰＲ過去問題集（2019年度版）

試験スケジュールにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による変更する可能性もありますので、下記のＰＲプランナー資格制度Webサイトでご確認くださいますよう、お願い申し上げます。

ＰＲプランナー資格制度Webサイト：https://pr-shikaku.prsj.or.jp/

「PR アワードグランプリ 2020」
表彰式・受賞者によるプレゼンテーション
期間限定オンライン配信
視聴期間：12 月 18 日(金)14：00～12 月 27 日(日)

今年の「PR アワードグランプリ 2020」表彰式ならびに受賞者によるプレゼンテーションは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、期間限定（2020 年 12 月 18 日 14:00～）でオンライン配信いたします。

例年、皆さまに時事通信ホールにお越しいただき一般公開しておりましたが、
今年は会場にお越しいただくことなく各受賞エントリーのプレゼンテーション等を視聴していただくことが可能となりました。
また、今回の配信は当協会会員に限らずどなたでも無料で視聴可能となりますので、より多くの皆様にご視聴いただければと思います。

配信内容としては、ブロンズと奨励賞のエントリーのご紹介と、シルバー以上受賞全 9 エントリーの方々によるプレゼンテーションと表彰式です。

なお、今年度は「“上手な換気の方法”を伝えたい！『空気で答えを出す 会社』の底力」（エントリー会社：ダイキン工業(株)、事業主体：ダイキン工業(株)）と「『新 型コロナウイルスに関する危機管理広報初動マニュアル』無償提供でコロナ禍での本質的 ＰＲ発想を最短最速で日本中に提供」（エントリー会社：(株)井之上パブリックリレーションズ、事業主体：(株)井之上パブリックリレーションズ）の２つのエントリーをグランプリとして選出いたしました。

「PR アワードグランプリ 2020」の受賞者は下記 URL をご参照ください。
https://prsj.or.jp/association/wp-content/uploads/2020/12/praw2020_open1201.pdf

記

■ 名　　称　：「PR アワードグランプリ 2020」表彰式／プレゼンテーション

■ 視聴期間　：　2020 年 12 月 18 日（金）14：00～12 月 27 日（日）

■ 開催方法　：　オンライン配信

■講座詳細／お申込み：
当協会 Web サイトで本イベントの案内ページ（以下 URL）をご参照の上、お申込みください。
https://prsj.or.jp/event/viewingapplicationpraw2020/

PRSJ 新春シンポジウム開催のお知らせ
2021 年 1 月 20 日(水)16：00-17：15(予定)オンラインで開催

協会では、毎年 1 月に「新春 PR フォーラム」を開催してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年の形式を変更し、オンライン配信によるシンポジウムを中心として実施することとなりました。

第 1 部は日本 PR 大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」受賞者発表、選考理由の紹介、受賞者コメントの紹介を行います。第 2 部は新春 PR シンポジウムと題して、11 月 13 日に開催した 40 周年記念フォーラムに引き続き「パブリックリレーションズの可能性」をテーマに外部有識者によるトークセッションを実施予定です。

ＰＲ大賞受賞者、トークセッション登壇者等詳細やお申込みについては今後協会の Web と、メールを通じて案内します。

記

■ 名　　称　：　「PRSJ 新春シンポジウム」

■ 日　　時　：　2021 年 1 月 20 日（水）　16：00～17：15（予定）

■ 開催方法　：　Zoom を使用したオンライン配信（予定）

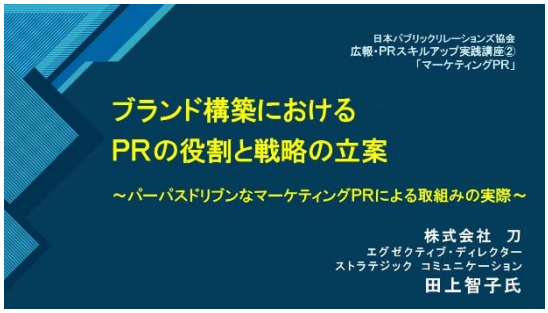
■ スケジュール　：　16：00　理事長あいさつ
16：05 日本 PR 大賞発表
16：15～17：15 新春 PR シンポジウム
「パブリックリレーションズの可能性」

広報・PR実務講座 2020

「広報・PRスキルアップ実践講座」第 2 回　マーケティング PR 講座

「ブランド構築におけるPRの役割と戦略の立案」開講

教 育 委 員 会



協会では、「広報・ＰＲスキルアップ実践講座」第 2 回として、「マーケティングＰＲ」をテーマとする講座「ブランド構築におけるＰＲの役割と戦略の立案～パーパスドリブンなマーケティングＰＲによる取組みの実際～」を 12 月 11 日よりオンライン開講しています。

近年、マーケティングの潮流は大きな変化を遂げました。大量生産、大量販売が行われ、商品の利便性を示す「機能的価値」を訴求した「マーケティング 1.0」、そして商品の差別化を重視し細分化された消費者セグメントに価値を伝えた消費者志向の「マーケティング 2.0」を超えて、新たなマーケティングの時代を迎えました。マーケティングの権威として知られるフィリップ・コトラー氏は「マーケティング 3.0」として、企業やブランドがどれだけ社会に貢献するか、また社会的課題の解決につながるかを価値評価の尺度とし、マインドを持つ生活者の共感、協働を重視する「価値主導のマーケティング」を提唱しています。

「価値主導のマーケティング」の最新潮流は「パーパス・ドリブン」なマーケティング。「パーパス」とは企業やブランドが何のために存在しているのか、といった普遍的な価値を示します。この「パーパス」を活動の軸とし、人々の共感の獲得から、究極として社会的課題の解決をめざす「パーパス・ドリブン」なマーケティングに注目し取組みを進める企業が増えています。
ＰＲ活動も、「パーパス・ドリブン」なマーケティングの一環として、戦略的に進められるケースが多くみられます。企業やブランドに対する人々の認知・理解の深化、ブランドの購入促進、さらには一企業の利益を超えた社会的価値の実現や社会課題の解決につながるＰＲが、マーケティングＰＲの新たな考え方として多くの企業に導入されつつあります。

本講座では、ブランドの構築に豊富な実績を誇る株式会社 刀で活躍する田上智子氏を迎え、「ブランド構築におけるＰＲの役割と戦略の立案～パーパスドリブンなマーケティングＰＲによる取組みの実際～」をテーマご講演いただきます。
講演では、マーケティングやブランディングの基本概念及び役割をはじめとして、ブランド構築におけるＰＲの役割、パーパスドリブンなマーケティングＰＲの考え方や戦略の立案などについてご解説いただきます。さらに同氏が手がけたパーパスドリブンなマーケティングＰＲ活動の事例をご紹介いただきます。、

ＰＲの新潮流としてパーパスドリブンなマーケティングＰＲを学ぶ本講座。みなさまの聴講をお待ちします。

講座の詳細ならびに受講申込みは、協会Ｗｅｂサイトの本講座の案内ページをご覧ください。

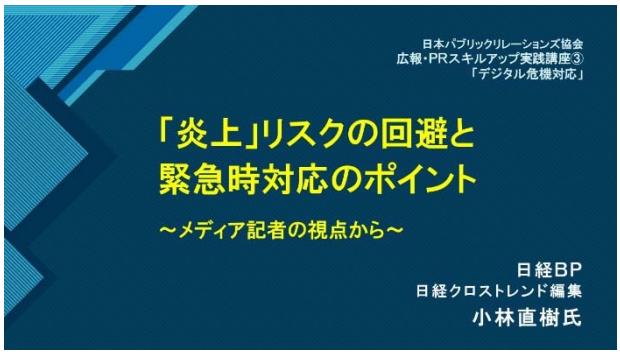
（事務局・真部）

広報･PR実務講座 2020

「広報･PRスキルアップ実践講座」第3回　デジタル危機対応講座

「『炎上』リスクの回避と緊急時対応のポイント」を開講

教 育 委 員 会



近年、ネットにおける「炎上」は、企業にとっては危機管理の対象となる重大な「リスク」として位置付けられます。モバイル機器やＳＮＳが発達しはじめた 2011 年頃から「炎上」の件数は急速な増加をみせ、2020 年の現在でも高止まりしたまま減少の兆しはみられません。特に、大きな社会問題となっている新型コロナウィルスの感染問題を背景として、「自粛警察」、「不謹慎狩り」といった言葉に示される行き過ぎた誹謗中傷が、「炎上」の発生と拡大にいっそう拍車をかけています。

商品の不備や欠陥、不謹慎発言、動画広告、バイトテロ、ネガティブ報道など、「炎上」の原因は枚挙にいとまがありません。また、マスメディア報道、Twitter や YouTube、Facebook などのソーシャルメディア、人々のクチコミなど、その発生から伝播、拡散に至るメディアの経路もけっして一様ではありません。この事態把握の難しさから、、ふと見逃していた「炎上」が社会的にも注目される「大炎上」へと燃え上がった時、渦中の企業や個人はなすすべもなく翻弄されます。

「炎上」の行方によって企業は長年かけて築いたレピュテーションやブランドを毀損し、業績にも甚大な影響を被ります。社会にネットが深く浸透した今、平時から「炎上」を防止し、万が一の事態には適切な対応を通じて混乱を最小化に導くこと、すなわち企業にとって「デジタル危機対応」は必須の課題であり、広報部門はその最前線で立ち向かう重要な役割が求められます。

本講座では、講師に日経ＢＰ「日経クロストレンド」編集の小林直樹氏をお招きします。小林氏は、かねてよりさまざまな「炎上」事例について取材を重ね、多数の著書を刊行するなど、「炎上」に関する事情に通じた専門家です。

講座では、最近におけるさまざまな「炎上」事例を紹介し、その原因や対応について得られる教訓、平時からの炎上予防策、さらに発生後における適切な対応などのポイントについてご解説いただきます。また、炎上の防止のみならず、生活者からの共感や好意を獲得する広告やＰＲメッセージの発信には何が重要なのか、そのポイントについてもご紹介いただきます。

広報・ＰＲ関係者にとってデジタル危機対応はマスター必須の重要分野。みなさまの受講をお待ちします。

講座の詳細ならびに受講申込みは、協会Ｗｅｂサイトの本講座の案内ページをご覧ください。

（事務局・真部）

正会員･個人会員限定

第 24 回企業活動研究会(11 月 17 日)開催報告
～「資生堂 S/PARK Museum」訪問～

企　業　部　会

企業部会では、コロナ禍以降初めてのリアル開会の企業活動研究会を開催いたしました。今回は、資生堂様のご協力を得て、横浜市に開設された資生堂グローバルイノベーションセンター S/PARK にて実施。17 社、21 名の皆さまにご参加いただきました。

正会員・個人会員限定

第209回定例研究会

デジタル化が変える企業そして消費、「日経MJ」が目指すもの

～「消費と人間の未来を考える」専門メディアの新展開～

講　師：日本経済新聞社
「日経MJ」編集長
鈴木哲也氏

第 209 回定例研究会（10 月度）は、10 月 21 日（水）、オンラインでで開催しました。講師は日本経済新聞社「日経ＭＪ」編集長　鈴木哲也氏 。テーマは「デジタル化が変える企業そして消費、「日経ＭＪ」が目指すもの～「消費と人間の未来を考える」専門メディアの新展開～」でした。

PRSJ in Media

● 12月1日（木）　『月刊広報会議』1月号

『月刊広報会議』1月号における当協会の連載コラムで、当協会が刊行し11月末から書店販売されている「広報・マスコミハンドブック2021」について記事掲載されました。コラムでは、ハンドブックにおいて、「『今』を読み解くキーワード」「「知っておきたいFact Data」「実務に役立つチェック＆フロー」など主要なコンテンツをはじめ、日々の広報業務に役立つ多彩な内容の掲載が紹介されました。また、今年度におけるコロナ禍においてオンラインを活用し行われた編集作業についても、簡単に触れられています。

● 11月20日（金）　『アドタイ』Web版11月20日号

「アドタイ」Web版11月20日号において、当協会が11月13日にオンライン開催した「PRSJ40周年記念フォーラム」の開催内容について記事掲載されました。記事では、まず、畔柳理事長のコメントとともに本シンポジウムが「PRへの期待と可能性」というテーマのもとに開催されたこと、さらに、「コロナ禍とパブリックリレーションズ」と題された会員向け調査結果の発表、「2020年PRSJ宣言」、協会理事4名によるトークセッション、協会発展に貢献した12名への功労賞の授与など、当日のプログラム内容がそれぞれの趣旨とともに紹介されています。

〈記事URL〉
https://www.advertimes.com/20201120/article329254/

［記事協力：株式会社内外切抜通信社］

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいとおもいますので、
よろしくお願い致します。

広報員会
Eメール　mail@prsj.or.jp
F　A　X　03-5413-2147

※ 禁転載